

高幡地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 2 6 . 2 . 1 0
高 幡 地 域 本 部

1 地域アクションプランの第3四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

高幡地域を牽引するAPとして位置づけている海洋堂ホビー館と満天の星を中心に様々な取組が動き出し、AP事業主体の意識が高まるとともにこれまでの取組の浸透により新たな動きが始まり、5つのAPが新たに加わる予定となっている。

AP事業主体の意識が高まっているものの代表が、「けんかま」が取り組むシイラ加工食品の生産拡大で、これまで産業振興アドバイザー事業や農商工連携事業を活用して取り組んだ結果、大きな販売先を獲得し、全国的に練り製品業界が厳しい状況の中、一定の売上を確保している。このことが職員の意識向上にもつながり更なる飛躍を目指して取り組んでいる。

課題があきらかになった事業主体や新たにAPを目指す事業主体には、産業振興アドバイザー制度を積極的に活用し課題解決などに取り組んでいる。

また、産業振興総合補助金やステップアップ事業を積極的に活用し、目標達成に向けた取組を進めている。

(2) 具体的な動き

①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>まとまりのある産地づくり</p> <p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上（須崎市、中土佐町、津野町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A土佐くろしお ・ J A四万十 	<p>[目標（H27）]</p> <p>主要農産物販売額：H27 園芸年度 55 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>主要農産物販売額：H25 園芸年度 53.8 億円</p> <p>[取組状況]（11 月末実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地検討会、目慣らし会等（57 回開催） ・ 栽培及び低コスト現地実証ほの調査・検討（61 ヲ所） ・ I P M技術実証圃の調査・検討（31 ヲ所） ・ 排液及び循環型処理装置の実証・検討（11 ヲ所） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>栽培技術の定着化</p> <p style="padding-left: 20px;">⇒実証圃の調査・検討の継続実施</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A津野山 <p>■No.3 基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A四万十 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>農協取扱主要品目売上：5.9 億円 所得 400 万円以上の農家数：5 戸</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>農協取扱主要品目売上：5.3 億円 所得 400 万円以上の農家数：4 戸</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培指導 栽培講習会 7 回、現地検討会 9 回、実証圃・モデル園設置 6 カ所、個別巡回指導等 89 回 (11 月末実績) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>平坦地なみの所得をあげるための進捗管理 ⇒個別巡回指導等の継続実施</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>ニラ販売金額：10 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ニラ販売金額：9.3 億円</p> <p>[取組状況] (12 月末実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地検討会等の開催 ミョウガ 5 回、ピーマン 5 回、ニラ 18 回、露地ショウガ 4 回 ・ J A と連携した品目別経営分析説明会の開催 11 品目 (ミョウガ、ピーマン、ニラ、キュウリ、アスパラガス、ショウガ、水耕切、イチゴ、葉カボ、インゲン、花き) 参加率 57% <p>[課題と今後の対応]</p> <p>収量・品質の向上 ⇒こうち新園芸システムと連携した取り組みにより、現行栽培技術の検証と新たな技術組立による更なる収量・品質向上</p>
<p>森を活かす取組</p> <p>■No.14 「四万十ヒノキ」のブランド化を主体とした地域森林資源の有効活用(中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十町森林組合 ・ 須崎地区森林組合 ・ 四万十町内製材業者 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 ：原木 9,000 m³、製品売上高 2.7 億円 F S C 等森林認証面積：5,700ha F S C 認証材製品売上高：20 百万円 J A S 認定工場：1 社増設</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 ：原木 7,000 m³、製品売上高 2.5 億円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用(梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町森林組合 ・梶原町 ・ゆすはらペレット(株) 	<p>F S C等森林認証面積：5,644ha</p> <p>F S C認証材製品売上高：10百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外商活動延べ220回(県内115回、県外105回)(11月末実績) ・製品売上高1.36億円(11月末実績) うちF S C製品6.2百万円 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客のニーズに応じた商品の開発・改良 ⇒アンケート等を実施して、商品の問題点等を検討 <p>[目標(H27)]</p> <p>木材生産量：5,000 m³</p> <p>認証材の販売量：1,600 m³</p> <p>ペレット原材料の調達：3,900t</p> <p>ペレット生産量：1,700t</p> <p>[H25到達点]</p> <p>木材生産量：2,800 m³</p> <p>認証材の販売量：1,400 m³</p> <p>ペレット原材料の調達：3,900t</p> <p>ペレット生産量：1,700t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業活動延べ78回(県内44回、県外34回)(11月末実績) ・ペレット生産に関する協議(32回)(11月末実績) ・認証材販売量916 m³(11月末実績) ・ペレット生産量1,122t(11月末実績) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・F S C認証材の知名度の向上 ⇒営業活動の充実
<p>■No. 16 「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J A津野山 	<p>[目標(H27)]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：11t</p> <p>[H25到達点]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：8.9t</p> <p>[取組状況]</p> <p>県椎茸品評会への出展(5月)</p> <p>全農全国椎茸品評会への出展(6月11日～13日)</p> <p>椎茸生産部会 小部会(億産会)の開催(8月3日、23日)</p> <p>乾椎茸格付共販事業運営委員会の開催(8月7日)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>1億円産業に向けた戦略の策定 ⇒J A担当者や生産者部会と協議</p>
<p>地域の特産品を活用した商品づくり</p> <p>■No. 22 シイラ加工の生産体制の強化 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・興津漁協四万十マヒマヒ丸企業組合 ・興津漁協 <p>■NO. 23 シイラ加工食品の生産拡大 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)けんかま <p>■NO. 27 「中土佐のうまいもん食わしちやお」 商品開発プロジェクト (中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画・ど久礼もん企業組合 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>加工品販売金額：15,000千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>加工品販売金額：15,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>通常総会開催 (5/30)</p> <p>商談 (5件)</p> <p>取引開始 (2社)</p> <p>加工品販売金額：10,540千円 (11月末) (前年比112%)</p> <p>従業員の常勤雇用 (6月から2名)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>安定的な原魚の確保及び経営管理、生産体制の強化 ⇒原魚の不足時における他所からの購入</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>フィレ取扱数量：34t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>フィレ取扱数量：25t</p> <p>[取組状況]</p> <p>こうち農商工連携事業によるアドバイザーの招聘 (8回)</p> <p>フィレ取扱数量：16.2t (12月末実績)</p> <p>シイラを使った竹輪の売上 1,952,030本 72,402千円 (12月末実績)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>競合他社製品との差別化を図る仕掛け ⇒量販店との商談など営業力の強化</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>開発する商品数：5商品</p> <p>売上高：28,000千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>開発する商品数：2商品</p> <p>売上高：28,000千円</p> <p>[取組状況] (11月末実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発 (かつおレアステーキ、海鮮丼のたれ)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ取材等によるPRの実施(9回) ・ファーストフード店のリニューアル(8月) 名称変更:市場食堂ど礼もん ・商談会への出展(2回) ・イベント等への出店 カツオのタタキ体験(7回)焼きラーうどん(6回) <p>[課題と今後の対応] 生産体制の強化 ⇒町の整備計画との連携</p>
<p>6次産業化への取組等による拠点ビジネス</p> <p>■No. 29 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとセンター ・津野町 <p>■No. 30 四万十町拠点ビジネス体制の強化 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)あぐり窪川 ・四万十町 	<p>[目標(H27)] 高知店販売額:90百万円 総販売額:162百万円</p> <p>[H25到達点] 高知店販売額:90百万円 総販売額:156百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工所・アンテナショップ満天の星 売上高:129,890千円(11月末)(対前年比:90.0%) ・販売会議・経営会議・直販所連絡会・満天の星定例会での売上高の分析・改善強化などを実施 ・直販所(6ヵ所、満天の星直販部門含む) 売上高:102,817千円(11月末)(対前年比96.5%) ・高知店等23年度改善計画対応検証会(12/9) <p>[課題と今後の対応] 十津店の改善 瀬戸店の売り場復活(しきみ・榊⇒農作物全般へ) ⇒改善計画検証結果の実行</p> <p>[目標(H27)] 地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 :5品目以上 道の駅あぐり窪川販売金額:4.2億円 アンテナショップ販売金額:4.5千万円 常勤雇用者数:3名</p> <p>[H25到達点] 地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 :5品目以上 道の駅あぐり窪川販売金額:3.5億円 アンテナショップ販売金額:4.3千万円 常勤雇用者数:3名</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町拠点ビジネス運営協議会（12月13日時点実績） 総会1回 担当者会3回 生産者会3回 事務局会9回 販促イベント5回 ・道の駅めぐり窪川 売上高：178,393千円 （9月末実績 対前年比130.6%） ・アンテナショップ しまんとマルシェ「四万十の蔵」 売上高：24,809千円（11月末実績） ・アンテナショップのリニューアル（12月） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>情報発信機能の充実 ⇒産地とアンテナショップとの定期的な交流</p>
<p>中心市街地の賑わいづくり</p> <p>■No.24 須崎市まち全域がサービスエリア構 想推進事業（須崎市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 ・須崎市まち全域がサービスエリア構想推進 委員会 	<p>[目標（H27）]</p> <p>街角ギャラリー来場者数：1万人 日・木曜日出店者：80店 携帯サイトアクセス数：10,000千件</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>街角ギャラリー来場者数：4,000人 日・木曜日出店者：60店 携帯サイトアクセス数：6,000千件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街角ギャラリー、旧三浦邸に地域おこし協力隊を導入 ※街角ギャラリー来場者数：3,712人（11月末実績） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新たなまちづくり ⇒須崎未来塾での検討</p>
<p>滞在型、体験型観光の推進</p> <p>■No.31 須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致 に向けた体制の整備（須崎市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市観光協会 ・NPOすさきスポーツクラブ 	<p>[目標（H27）]</p> <p>民泊受入世帯数：100世帯 教育旅行受入数：10,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>民泊受入世帯数：100世帯 教育旅行受入数：5,000人</p> <p>[取組状況]（11月末実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊の訪問実績：555軒 ・教育旅行の受入：5,164人 ・民泊受入世帯数：10軒増加、合計57軒 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>民泊受入世帯の増加 ⇒受入世帯100世帯に向けた営業活動の実施</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.32 中土佐町の地域資源を活用した体験型観光の推進(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 	<p>[目標(H27)]</p> <p>体験受入数:2,300人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>体験受入数:1,900人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上ノ加江漁業体験PR (高知市内の小学校6校、高知市老人クラブ連合会等) ・上ノ加江漁業体験の実施:33回 参加人数646人 (11月末実績) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験メニューの充実と人材育成 ⇒観光物産センターや施設等との連携強化</p>
<p>■No.33 梶原町の体験型・滞在型観光の推進(梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町商工会 ・梶原町 ・松原まろうど会 ・坂本龍馬脱藩の郷 ゆすはらであいの会 	<p>[目標(H27)]</p> <p>宿泊者数:8,500人 施設利用者数:97,500人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>宿泊者数:8,300人 施設利用者数:90,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「梶原千百年物語り」情報発信拠点オープン(4/7) ・愛媛県へのイベント参加によるPR 4/20～21 砥部焼まつり ・ゆすはらの休日 グルメフェスタ in 梶原(9/22) 約15,000人来場 ・主要宿泊施設宿泊者数:6,631人(対前年比:97.3%) (11月末実績) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>予想を大幅に上回る来客があったグルメフェスタ in 梶原での周辺道路渋滞や早期の売り切れへの対応 ⇒駐車場への適切な誘導等</p>
<p>■No.34 清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感!～観光集客アップ作戦～(津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津野町 	<p>[目標(H27)]</p> <p>主要宿泊施設年間宿泊者数:9,800人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>主要宿泊施設年間宿泊者数:9,500人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新茶PR・津野町ふれあい特産市、関連イベント(4回) ・各種イベントの開催(15回) ・県外向けラジオPR(18回) ・主要宿泊施設宿泊者数:8,759人(対前年比:107.9%) (11月末実績)

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■NO. 35 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十町 ・ ㈱海洋堂 ・ ㈱奇想天外 	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>四万十川源流点観光拠点施設のあり方の検討 ⇒船戸地区でのワークショップ開催</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人 常勤雇用者数：3人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人 常勤雇用者数：3人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入館者数 55,762人 (11月末実績) 前年同期比 92.8% ※のべ入館者数：205,604人 (H23. 7. 9～H25. 11. 30) ・ 企画展開催：8回 <ul style="list-style-type: none"> 「エヴァンゲリオンフィギュアワールド」 3/16～5/27 「本格的美少女ディープフィギュアの世界」 6/8～9/30 「打井川のお宝展」 3/16～4/15 「土佐模型クラブジオラマ展」 4/20～6/10 「土佐の海」 7/6～9/16 「四万十町木工作品展」 9/21～11/4 「四万十町の中平親子三人展」 11/16～12/23 「上田忠明のプラモ展」 11/2～2/24 <p>※海洋堂かっぱ館入場者数 29,757人 (11月末実績)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒観光協会や地元団体等との連携強化

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十町 ・ 営農支援センター四万十(株) 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>施設稼働率：90%</p> <p>移住者数：15組</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>施設稼働率：90%</p> <p>移住者数：8組</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラインガルテン四万十の入居状況 滞在型 22棟 うち全棟入居 日帰型 16区画 うち利用 15区画 (11月末) ・ お試し滞在住宅運営状況 大正中津川 4組 (2/12~4/11、5/13~8/2、8/9~10/25、10/29~1/28) 広井 4組 (4/22~6/10、6/13~7/25、8/29~9/28、10/25~1/24) ・ 移住相談窓口での相談件数 91件 (11月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の移住に繋がる仕組みづくり ⇒地域住民との交流促進、サポート体制の整備
<p>■NO. 21 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中土佐町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>商品販売高 25,000千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況] (12/19 現在実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光物産センターを事務所移転し、情報発信機能を強化。 ・ 観光キャラクターを活用したPR活動 12回 ・ 「びんび鯉のタタキ」をイベントでPR：東京、大阪各2回 香川、京都各1回 ・ 水産物加工施設整備に係る作業検討会の実施：14回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水産加工場の整備と事業の構築 ⇒漁協等との連携強化

2 平成 25 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 11 四万十の栗再生プロジェクト (四万十町)	・お茶栗カフェ兼加工場の整備	40,110 (18,400)
■No. 21 中土佐町地域ブランドの創出と販売 促進 (中土佐町)	・中土佐に水揚げされる高鮮度の水産物を加工販売する加工場の建設	49,909 (33,272)
■No. 38 葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大 (須崎市)	・葉にんにくのぬたを主とする製品の生産に必要な施設の整備	4,725 (2,250)
■No. 8 直売所・農家レストランを核とした「地消地産」の推進 (四万十町) ※ステップアップ事業	・直売所及び農家レストランの基本コンセプトの作成	1,890 (900)
■NO. 19 浦ノ内産養殖マダイの販路拡大(須崎市) ※ステップアップ事業 (水産振興部対応)	・HP作成、販促資材作成等	1,020 (486)
■NO. 39 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大 (梶原町) ※ステップアップ事業	・キジ肉の熟成試験、販売資材作成等	1,741 (870)
■No. 8 直売所・農家レストランを核とした「地消地産」の推進 (四万十町) (農業振興部対応)	・「みどり市」の改修と「しまんとキッチン」の新設	111,597 (50,000)
■NO. 40 県産竹材を活用した加工品づくりのための竹材の安定供給 (須崎市) (林業振興・環境部対応)	・レクサスの竹ハンドル生産のための竹材の安定供給に必要な機器整備	15,990 (10,151)

3 県民参画に向けた取組

○産業振興計画シンポジウムの案内

- ・津野町広報誌での案内
- ・地域アクションプラン事業者への案内
- ・地域団体への案内

○土佐MBAへの参加の働きかけ

- ・(株)満天の星、JA四万十女性部、打井川地区会食部会、アースエイド など

○須崎市の農業を考える会でのPR

4 相談案件：16件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/17	農業	さかなを使った肥料の開発について
2	4/24	観光	管理釣堀の設置について
3	5/15	食品加工	昆布養殖の産業化について
4	5/23	食品加工	加工場の整備の補助金について
5	5/30	食品加工	四万十川流域の安心安全な食材を使った加工品の販売について
6	6/4	商工	四万十町内へのホテル建設について
7	6/11	食品加工	葉にんにくのぬたの販売促進について
8	7/18	販売戦略	サンシャイン四万十を核とした四万十の地場産品の販売戦略について
9	8/12	林業	展示場の整備
10	8/14	観光	四万十生姜プロジェクト
11	9/26	水産業	種苗センターの活用について
12	10/4	林業	くろもじの活用について
13	10/11	林業	製炭事業
14	10/23	観光	大正温泉及び江師地域の活性化について
15	12/11	農業	落花生の生産、加工販売
16	12/19	商工	ままごとキッチンのPR等について